



# 第17回上田八木・金融政策サーベイ(2018年1月)の結果について

～1月のMPM予想は回答者の98%が政策変更なしの見方。3か月先の金利予想はどの期間も上昇を予想する先が増加。出口開始時期は今から1年未満との見方が13%に増加(前回6%)。

2018年1月19日(金)  
上田八木短資株式会社

## 【調査の総括】

- 回答者(179先)の98%が1月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 3か月先の金利予想はどの期間も上昇を予想する先が増加している。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年未満」の見方が13%と前回(6%)より増加の一方、「1年以上3年未満」(前回67%→今回65%)、「3年以上」(前回27%→今回22%)といずれも減少。

## 【調査の概要】

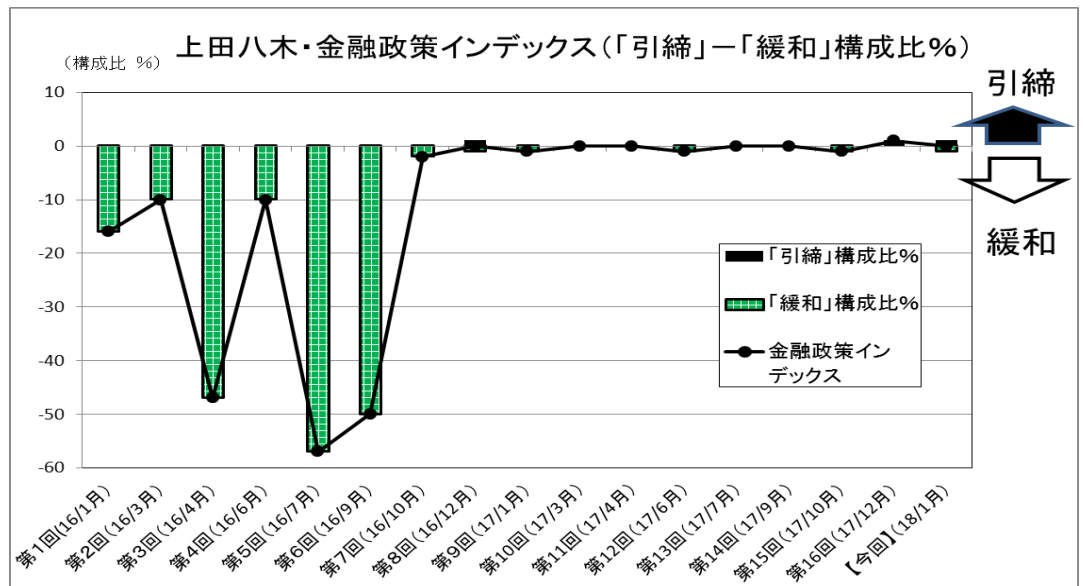
調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(197先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2018年1月16日～18日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	90.8% (回答者数179先<Q1における回答者数>)

## 【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(1月22日～1月23日)における決定について

回答者の98%が「不変」の見方(前回99%)。

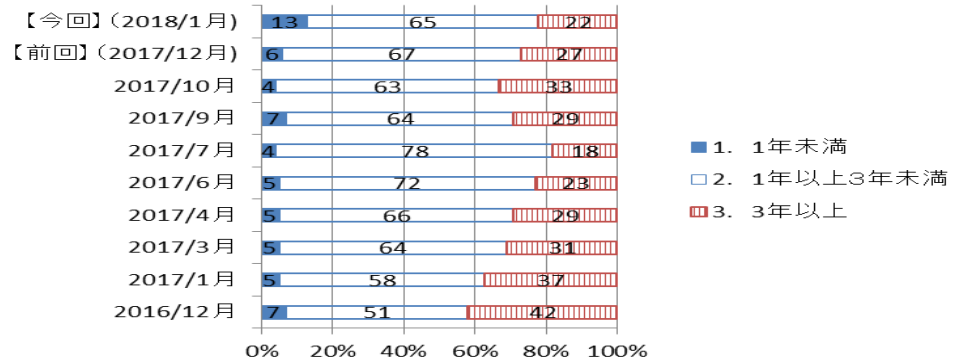
上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、±0だった(前回+1)。



(ご参考)

【今回10回目となる追加質問: Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

1年未満と回答する先が13%に増加(前回6%)。



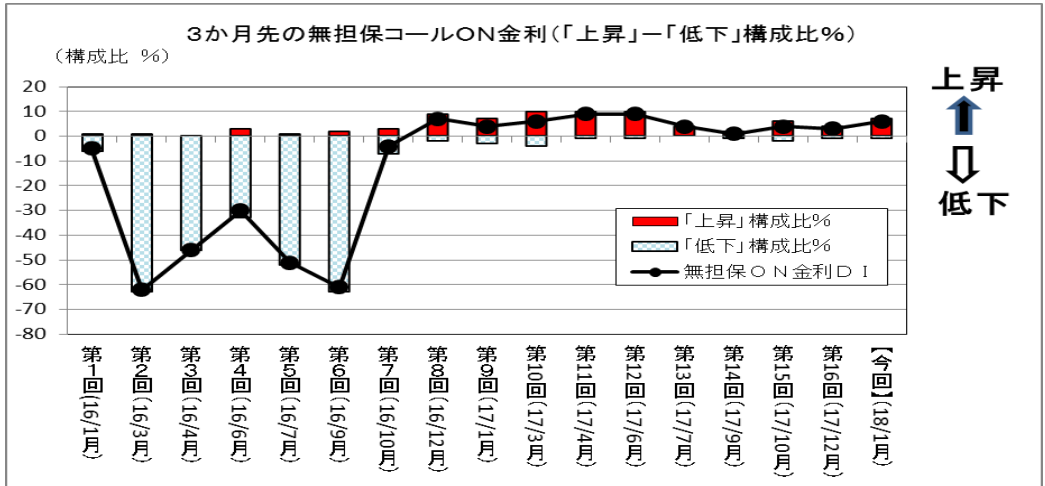
(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の92%が「不変」と予想。1%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は7%だった。

前回との比較では、「低下」とみる先1%と前回と同じ。

「不変」とみる先が▲3%ポイント(前回95%→今回92%)。

「上昇」とみる先は+3%ポイント(前回4%→今回7%)。



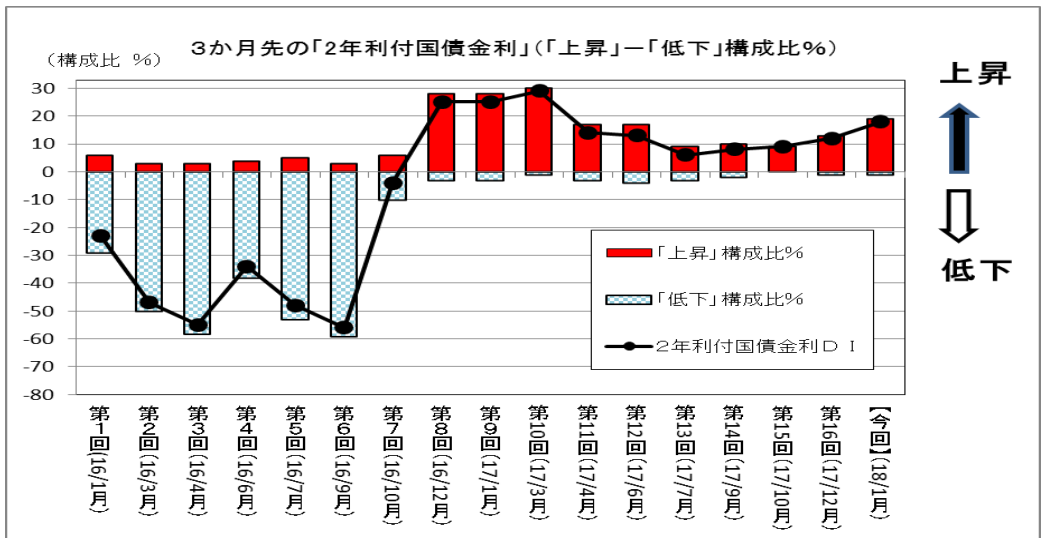
(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の80%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者1%。「上昇」を予想した先は19%であった。

前回との比較では、「低下」とみる先は1%と前回と同じ。

「不変」とみる先は▲6%ポイント(前回86%→今回80%)

「上昇」とみる先は+6%ポイント(前回13%→今回19%)。



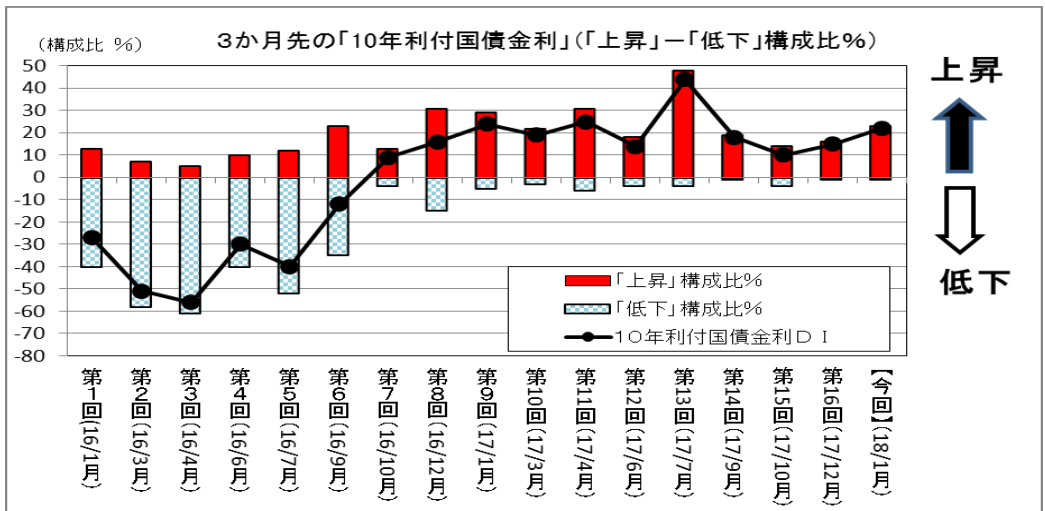
(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の76%が「不変」を予想。1%が「低下」、「上昇」を予想した先は23%。

前回との比較では、「低下」とみる先は1%と前回と同じ。

「不変」とみる先は▲7%ポイント(前回83%→今回76%)。

「上昇」とみる先は+7%ポイント(前回16%→今回23%)。



【本調査に関する照会先】  
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)



# 第17回上田八木・金融政策サーベイ(2018年1月)

発表日：2018年1月19日（金）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年1月16～18日
調査先	197先
回答率	90.8%

## (Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（1月22日～1月23日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	0	+1
不変	98	99	▲1
引締	1	1	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	0	+1	▲1

## (Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
低下	1	1	0
不変	92	95	▲3
上昇	7	4	+3
短期金利予想DI	+6	+3	+3

## (Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
低下	1	1	0
不変	80	86	▲6
上昇	19	13	+6
2年国債金利予想DI	+18	+12	+6

## (Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
低下	1	1	0
不変	76	83	▲7
上昇	23	16	+7
10年国債金利予想DI	+22	+15	+7

## 質問(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
1. 1年未満	13%	6%	+7%
2. 1年以上3年未満	65%	67%	▲2%
3. 3年以上	22%	27%	▲5%